

日本は魅力的です。

日本は引き続き、世界で最も魅力的な観光地のひとつであり、“Cool Japan fusion with Tradition”（伝統と融合したクールジャパンを提供する国）です。

- 日本人は2011年の東日本大震災以来の国際社会からの多くの御支援に感謝しており、海外からのお客様を日本に迎えることで直接に感謝をお伝えしたいと考えています。
- 震災後においても、ガーディアントラベルアワード2011、カントリーブランドインデックス2011－2012での観光部門第1位、トラベル&レジャー誌の世界最高の都市ランキング第9位など、日本は多くの観光地ランキングで受賞しています。（参考資料参照）
- 日本観光のマストリストに、富士山、寺社仏閣、伝統的町並み、温泉、日本食に加え、東京スカイツリーなど次から次へと新しい魅力が加わっています。

日本は回復し、通常通りです。

日本への観光需要は完全に回復しています。また日本は国際会議の開催場所としてお役に立つ準備ができています。

- 2012年6月の日本への外国人訪問者数は2010年6月に比べて1.4%のプラスとなり、完全に震災前水準へ回復しました。
- 2012年10月のIMF・世界銀行総会や同年4月の世界旅行ツーリズム評議会（World Travel & Tourism Council）のグローバルサミットなどの主要国際会議が日本で開催予定、または、開催されました。日本はビジネスや学術の会合へ理想的な環境を提供する準備ができています。
- ブリュッセルの国際団体連合（Union of International Associations）によれば、2011年、日本は世界で2番目に多くの国際会議が開催された都市でした。

日本は安全です。

日本は引き続き、世界で最も安全な観光地のひとつです。

- 2011年12月に福島原子力発電所が冷温停止状態となりましたが、状況は解決に向けて大きく進展しています。原発周辺の一定の地域を除き、東京や日本のどの地域も、大気中の放射線レベルは事故前水準へ戻り、現在は世界の他の主要都市と同じ範囲です。放射線量の値（ $\mu\text{Sv/h}$ ）は7月9日時点で、東京が0.048、ロンドンが0.090、パリが0.054、シンガポールが0.090などとなっています。（毎日の測定結果は以下のサイトをご覧ください。http://www.jnto.go.jp/eq/eng/04_recovery.htm#city）
- 食品及び飲料の最も厳しい安全基準のひとつが適用されています。日本では、飲料水に含まれるセシウムの基準値は10Bq/kg、一般食品は100Bq/kg となっていますが、EUではそれぞれ、200Bq/kg、500Bq/kg です。
- 日本はマグニチュード9の地震が起こるとの仮定に基づき、地震の影響を防止するための最大限の取組を進めています。もちろんM9地震は仮定にすぎず、必ずしも現実のものになるとは限りません。また、世界で最も厳しい建築基準が適用されており、3月11日の際も、東京においては、ひとつのオフィスも住宅も倒壊しませんでした。634メートルの高さを誇る東京スカイツリーも無傷でした。
- 素晴らしい治安と安全記録があります。日本人の美徳により、震災後でさえも大きな犯罪や略奪は起こりませんでした。